

平成29年度福岡市小図研 8月定例会記録①

文責：安部春伊（和白東小）

8月定例会の内容

日時：平成29年8月26日（土）
13:30～15:30
場所：福岡市立三筑小学校
内容 教材研修
低学年「たのしくうつつて」（紙版画）
高学年「版から広がる世界」
（ドライポイント）
授業研究部会②
参加者：43名

第2学年題材

「たのしくうつつて」（紙版画）

講師：田村小学校 小城 聡子先生

★題材指導の考え方と指導の実際★

低学年「版に表す活動」には…

版遊びとは・・・教科書では、「絵に表す活動」だけでなく、造形遊びをする活動でも、版の特性を生かした題材が設定されています。低学年の活動としてはローラー遊びやスタンピング、こすり出しなどがあります。

【1年生の活動例】

- ローラー遊び
- スタンピング
- こすり出し（フロッタージュ）

【2年生の活動例】

- ステンシル版
- ステンシルローラー版
- 紙版画

実技研修① ステンシル版

型紙を使って、同じ形をいくつも創ることができます。色や並べ方といった、画面上での工夫の様子も見られます。



【講師 参考作品】

- 画用紙に好きな型を切り抜き、その型の周りに絵の具を付けたタンポで色を付ける。
- 切り取って残った型もステンシルにできるので捨てないようにする。

タンポは、使わなくなったTシャツを切り、中に綿を入れて輪ゴムで止めると柔らかく使いやすい。



ステンシルをする時には、ポスターカラーに霧吹きで水をかけてからタンポで色を付ける。



【参加者作品】

実技研修② ステンシルローラー版

型紙を使って、ローラーで色を重ねていきます。2段階ほどに分けて重ねると色の違いがでできます。

段階①



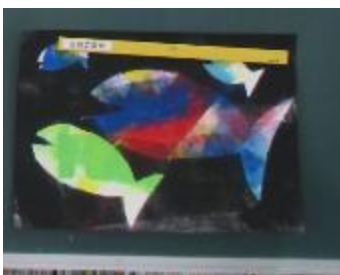
- ① 薄い色をローラーにつけて転がす。その上に置きたい型紙をのせる。

段階②



- ②型紙の上から濃い色をローラーにつけて転がす。さらに置きたい版をのせる。

段階③



- ③最後に黒などの濃いインクをローラーにつけて転がす。最後に貼った型紙を外す。

※ 型紙を貼る時には、セロテープを腕に貼ってなじませた後に、くるっとまいて型紙に貼るとはがしやすくてよい。



【参加者作品】



実技研修③ 紙版画

紙を切り貼りして版をつくり、刷る活動です。使用する材料が少ないため、手軽に取り組むことができ、紙の種類によっても様々な効果を期待できます。



【版をつくるときには・・・】

- 白表紙は刷りの時にインクがのりやすくきれいに刷ることができる。接着剤で各部分をつけるとよい。



【講師資料】
白表紙で版をつくって刷ったもの

- 手でちぎらせたいときには、画用紙がよい。のりで特に端に気をつけて各部分をつける。



画用紙で版をつくって刷ったもの

